



サノヤスホールディングス株式会社

2023年3月期第2四半期 決算説明資料

2022年10月31日

Sanoyas

- 1. 決算概要**
2. セグメント別業績
3. 業績予想
4. サステナビリティへの取り組み

1.決算概要

(百万円)

	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	前年同期比
売上高	8,249	7,956	△ 292
営業利益	△ 384	△ 699	△ 314
経常利益	△ 397	△ 568	△ 171
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△ 70	△ 555	△ 485

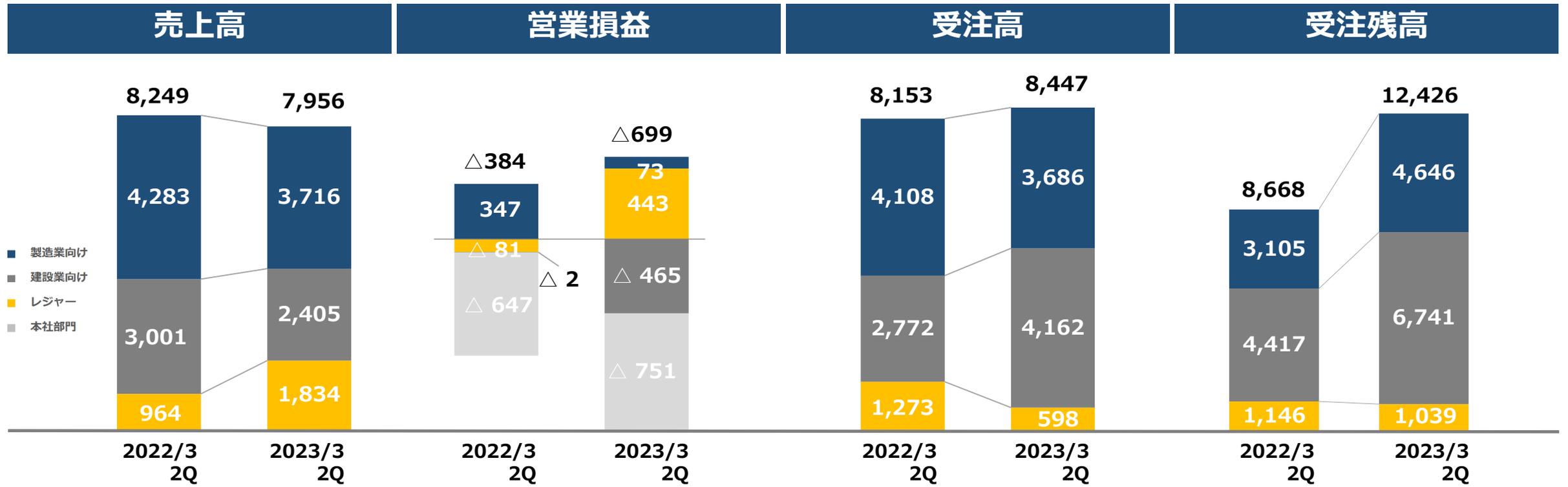
※前第2四半期の親会社株主に帰属する四半期純利益には過去の組織再編に伴って計上した繰延税金負債の取崩しを含む。

1. 決算概要
2. **セグメント別業績**
3. 業績予想
4. サステナビリティへの取り組み

2-1.セグメント別業績・概要

- ・ 電子部品、部材調達の長納期化により前年同期比減収減益
- ・ 売上は建設業向け中心に下期に集中傾向のため、年間の業績には連動しない
- ・ 着実に受注を積み上げ受注残高は大きく伸長
- ・ 松栄電機(株)のグループ入りで事業ポートフォリオ拡大 (7事業グループ)

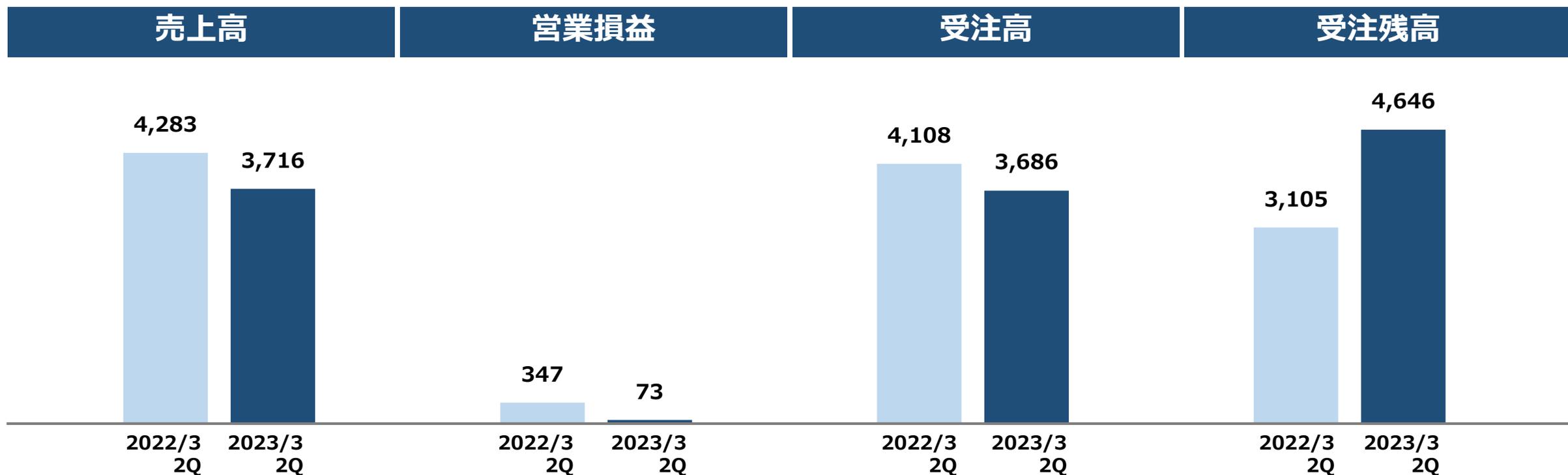
(百万円)



2-2.セグメント別業績・製造業向け

- ・化粧品乳化装置・攪拌機製造は端境期。顧客の設備計画見直し等の影響を受け減収
- ・ドライブシャフト製造は海外生産停滞の影響を受け減収
- ・半導体・電子部品関連の各種産業機械部品製造は引き続き好調。ショットブラスト製造は回復基調
- ・化粧品乳化装置・攪拌機を中心に受注残高は大きく伸長

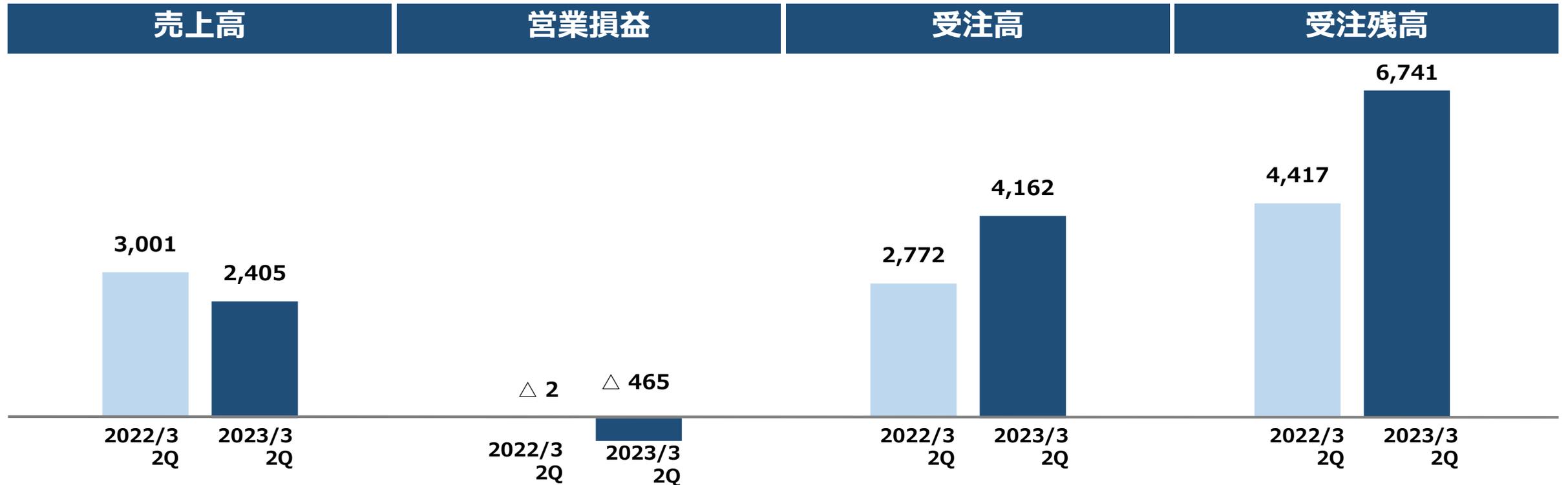
(百万円)



2-3.セグメント別業績・建設業向け

- ・ 電子部品・部材の調達の高納期化や価格の上昇が継続、電気機械器具製造及び電気工事への影響の他、機械式駐車装置のリニューアル・修繕で工事の遅延が発生
- ・ 電気機械器具製造及び電気工事、空調衛生給排水設備の施工等の受注が積み上がり、受注残高は大きく伸長

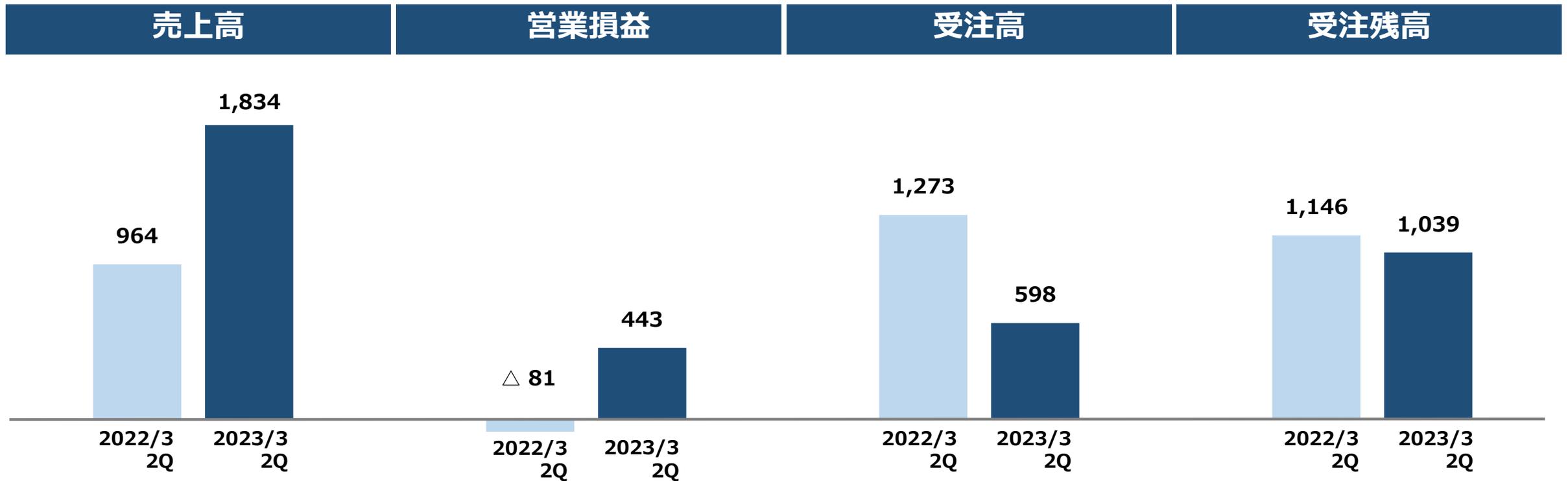
(百万円)



2-4.セグメント別業績・レジヤー

- ・ 遊園地の国内利用客が戻り遊園地運営の売上が増加、
遊園地からの部品・修理ニーズを捕捉し大幅増収・増益
- ・ 遊戯機械販売・メンテの受注が着実に積み上がる

(百万円)



1. 決算概要
2. セグメント別業績
- 3. 業績予想**
4. サステナビリティへの取り組み

3.業績予想

2022年5月13日の公表数値から変更なし

(百万円)

	2022年3月期	2023年3月期 予想	対前年度
売上高	19,148	21,000	1,851
営業利益	222	500	277
経常利益	205	500	294
親会社株主に帰属する 当期純利益	434	300	△ 134

※第4四半期に売上計上が集中するため、四半期業績と通期業績は連動しない。

※前会計年度の親会社株主に帰属する当期純利益には過去の組織再編に伴って計上した繰延税金負債の取崩しを含む。

1. 決算概要
2. セグメント別業績
3. 業績予想
4. **サステナビリティへの取り組み**

4.サステナビリティへの取り組み



技術人財開発センター



サノヤスグループの製造力強化を支援するサノヤステクノサポート株式会社では、技術系人財の育成を専門に扱う技術人財開発センターを設立しました。

研修の企画、立案、運営



階層別研修の企画、立案、運営と環境整備
中期視点に立った施策・制度の検討と提案

技術系人財の育成、強化



工場長やリーダーの育成（ものづくり塾）
新入社員技術・技能研修の拡充
階層、各人のレベルに応じた外部研修の活用

グループの事業成長



グループ全体の技術力の強化
技術オリエンテッド加速へ



サノヤスホールディングス株式会社

「確かな技術にまごころこめて」
～人と技術を磨き、新たな顧客価値を創出する～

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、
当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、
実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。